

ぐるとば

GURU TOBA

多様な地形を持つ鳥羽には、地区ごとに特徴的な食と文化が根付いている。それぞれのエリアの「食」や「人」の魅力に出会う体験プラン「ぐるとば」に参加して、もっと深く鳥羽を知ろう。※掲載は「ぐるとば」プランの一例です。



pick up!

鳥羽の魅力をぐるっと体験

島の名物朝ごはん！

「菅島 伊勢海老の開き干し」を味わう <菅島>



伊勢神宮が位置する西から強い風が吹く菅島は干物が名物。数ある干物の中でも「伊勢海老開き干し」は旨味がギュッと凝縮された逸品。島に来なければ味わえない楽しみです。



漁師さんのお手伝いから料理づくりまで 答志島で「ヤア」になる日 <答志島>

ドラマの題材にもなった「ヤア」。答志島ではお嫁さんのことをこう親しみを込めて呼ぶ。1泊2日の体験は、風習や方言を島の人に尋ねる「知っとこクイズ」からスタート。翌早朝、漁のあとの網をさばくお手伝い開始。魚を傷つけないよう網から外す。そのまま島の魚市場を見学して、朝獲れた魚を調理する。答志島でしかできないこの体験は島の人たちの人情にも触れることができ、とにかく楽しい。

■開催日=9月22日～毎週日曜（日曜1泊で月曜に体験。11月24日、年末年始は除く） ■時間=1泊2日（3食付き） ■料金=1万3000円（大人1人）

※季節、天候によりお手伝いの内容は変わります

海女さんこぼれ話 <相差>

今、何かと話題の海女さんが、漁の様子から普段の生活のことまで、ここでしか聞けないこぼれ話を披露。その元氣とキレイの秘訣も教えてくれる。お茶と相差のおやつ付き。



ものしり博士・勇さんと歩く

The 漁師町・石鏡のふしぎ発見 <石鏡>



鳥羽の中でも歴史が古い石鏡の町を、地元のものしり博士・勇さんの案内で散策。風情ある路地裏を歩けば石鏡ならではの風習や年中行事、暮らしと知恵がそこそこに見られる。

尾頭付きのタイはいかにも晴れやかで、祝いの席の定番。鳥羽一円の家はタイの好漁場が多く、とっても美味。



実施日・申し込みなどは

ぐるとば

検索

祝い旅

IWAI TABI



高級食材のアワビは海女たちの手で獲られる。刺身の歯応えがたまらない。



伊勢志摩を代表する海の幸、伊勢えび。見るからにおめでたい。味も品格も、祝い魚として申し分ない。

祝い事には欠かせないタイ、長寿のシンボル伊勢えび、熨斗鯉として神宮に奉納されるアワビ。鳥羽ではこれらを「日本の祝い魚」と呼び、祝い魚を供する様々な宿泊プランを展開している。豊饒な海を有する鳥羽は、神様の食物を産する地として神宮と共に歴史を重ねてきた。祝福の地・鳥羽を訪ねてよし、泊まってよし。祝い魚で人生の一日に乾杯。

プランの詳細は

祝い旅

検索



楽しさ盛りだくさんの鳥羽に泊まろう！

HOSUを楽しむ鳥羽の旅

取材・文 = 下村友恵

撮影 = 加藤昌人

イラストマップ = 熊谷江身子



干す

HOSU

鳥羽

HOSUプロジェクト

海の幸が豊富な鳥羽。中でも、国崎(くさぎ)では2000年も前から、神宮の御饌(みけ)としてアワビをのして干す「熨斗鯨」を納めてきた。「干す/HOSU」文化の歴史は神話時代に遡るのだ。新鮮な海の恵み、潮風、太陽。この三要素が揃う鳥羽だからこそ、魚や貝、海藻、野菜など、いろいろなものを干す文化がごく自然に根付いたに違いない。

菅島のしろんで浜で、潮風を受けて並んでいるのは、なんと高級食材の伊勢えび。菅島旅館組合の男前5人衆が特産品の伊勢えびを開きにして干物を開発。10月8日には1000匹が浜で干された。



海女

AMA

10月14日、白い磯着に身を包んだ鳥羽の海女さん含む市民100人が東京・六本木ヒルズに大集合。この姿で鳥羽から近鉄と新幹線乗り継いで来た。伊勢えび干物の振る舞いは大人気。



潮風とお日様の町、鳥羽。ここには伊勢神宮に奉納する「熨斗鯨」に起源を持つ「干す/HOSU」文化があちこちに息づいている。漁港の近くには真っ黒な絨毯のようにヒジギが干され、海辺を歩けば、小魚たちが洗濯物と一緒に風に揺れる。あ的高级食材・伊勢えびだってこの地にかかれば、干物になってしまう。

鳥羽の魅力はそれだけではない。タイヤアワビ、伊勢えびなどおめでたい祝い魚が供される宿泊プランに、ドラマやイベントで何かと話題の海女など、海にまつわるエピソードは盛りだくさん。最近では鳥羽市内の各地区独自の文化を体験できる「ぐるるとば」も大人気。離島の「嫁」体験など、ここできかない楽しみが満載。

平成25年は、20年に一度の特別な遷宮の年だからこそ、伊勢神宮とゆかりの深い鳥羽に来て、鳥羽の町をあれこれ贅沢に楽しもう。

素潜りでサザエやアワビなどを獲ることを生業としている「海女」。鳥羽は日本で一番海女が多く、今でも570人ほどの海女が漁に出る。海女漁の歴史は古く、自身の肉体と知恵、技術を駆使する原始的なこの漁法は、おおらかでたくましい鳥羽の女性たちによって受け継がれてきた。海女が信仰する神社や、海女の祭り、一般の人にも楽しめる「海女小屋体験」など、鳥羽には海女の暮らしに触れられるスポットもたくさんある。